

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 重症心身障害児 放課後等デイサービス めろん

公表日 令和8年3月28日

利用児童数

令和8年3月1日

回収数

9

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	2	5		2	・狭い気がする ・他のお子さんがバギーから降ろされずずっと初めから終わりまで乗ったままなのが気になりました。 ・小学校入学時に見学したことはあるが、成長してから見学の機会がなく、活動の様子がはっきりとは分からないため ・利用者がいる普段の様子をみたことがないので、わかりません。	活動スペースの活用状況について保護者への見学機会を設ける。バギー使用児の活動参加方法について職員間で検討する。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	2	2	3	2	・重症医療的ケア児の経験ある看護師がいない ・常勤の方にはお会いすることはあるが、非常勤に関してはどんな勤務状況かわからず、実際どのような編成で支援を行っているかわからない。役職と名前にしてはLINEや文書で周知して貰える と助かります。 ・常勤看護師が必要だと思います。常勤リハビリも最近みかけずリハビリの人は今、何人どのくらいの頻度で来ているのか不明	非常勤を含む職員の役職・氏名をLINEや文書で保護者に周知する。重症医療的ケア対応経験を持つ看護師の採用を継続する。常勤リハビリスタッフの配置・頻度について保護者へ情報提供する。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	4	3	1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	2	1	2	・室温温度計がなく、床に寝かせられる子供にとって寒く過酷な状況です ・寒さや湿度は管理されているのか、物品洗浄のスポンジなどは取り替えているのか、不明です。	室内に温湿度計を設置し、温湿度管理を記録・徹底する。清掃用スポンジ等の物品交換頻度を管理する体制を整え、保護者へも周知する。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	3	2	2	2	子供の反応待つコミュニケーションや自分でものを持っていない子の手のひらに物を持たせてつかむ練習などさせていない。 介助者側の一方通行が多く、どうせ分からない話せないが前提で対応するので、何か動作をする前に本人に話しかけずに勝手に物事を進めている。ここねやカレッジガーデンに訪問し、正しい知識を定期的に勉強して欲しい。	支援実施前に必ず本人へ声掛けを行う手順を職員間で徹底する。ここねやカレッジガーデン様等への訪問・研修を実施し、反応を待つコミュニケーション技術の向上を図る。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	3		1		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	3		1	・個別支援計画通りに実施されると思っていたが、実際はされていない ・ワンパターン化しているように思えます。	計画内容と実際の支援が一致しているか定期的に確認する仕組みを設ける。支援内容のマンネリ化を防ぐため、計画見直しの頻度を高める。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	3	2	2	2	家族支援がされているとは思えない。	家族支援の具体的な内容を個別支援計画に明記し、実施状況を定期的に確認する。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	2		2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	6	1	1	1		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	1		3	5	・外部と活動する前に、まず施設で正しく運営するようにして欲しい ・ないと思いますが、実際のところは分かりません。	まず施設内の支援の質を安定させることを優先しながら、地域交流の機会については段階的に計画する。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	7	1		1	実際にはしていなかったようです	利用開始時の運営規程・支援プログラム・利用者負担に関する説明を確実に実施できるよう手順書を整備する。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	7			2	実際にはしていなかったようです	放課後等デイサービス計画を用いた支援内容説明を利用開始時に必ず実施する手順を整備する。

保護者への説明等	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	7		スタッフに勉強が必要です	家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の実施に向けて計画を立て、スタッフへの研修を実施する。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	3	4	1	1	・連絡帳やMCSで様子は伝わっていますが、めろんさんは比較的レスポンスがなく、共有した情報が活かされているのかわかりません。 ・連絡帳に体調の様子などを書いていても、事業所からのコメントはいつも活動内容しか書いておらず、みんな共通したコメントになっているように思う。1人1人様子は違うだろうから、その子にとってのコメントが欲しい。	連絡帳・MCSへの返信を迅速に行う体制を整える。コメントは子ども一人ひとりの状況に応じた個別の内容にするよう職員へ徹底する。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	2	3	3	1		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	4	2	3			
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。			8	1	あったらいいと思います。	保護者交流会やきょうだい向けイベントの開催について具体的な計画を検討・立案する。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	1	1	5	2		
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	4	2	3		一方的なケアで声掛けがされている様子が見られない。	ケア実施前に必ず本人への声掛けを行う手順を職員間で共有・徹底する。双方向コミュニケーションを意識した支援について研修を実施する。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	2	2	3	2	・通信はありましたが、かなり不定期な印象です。 ・最初のころはSNSもよく更新されたが、便りなどあったが、もうここ数年お便りはない。	通信・SNS発信の定期スケジュールを設定し、継続的な情報提供を再開する。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6	2	1			
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	1		3	5	・マニュアルがなく、医療的ケアケアも何も見ないまま実施していて危険であり、しかもケアが正しくされていない ・具体的なマニュアルについては知りません。 ・何もマニュアルを見せてもらえたことがないので、心配。	事故防止・緊急時・防犯・感染症等の各マニュアルを整備し、保護者への周知を徹底する。医療的ケアの正しい手順についてマニュアルを作成し、職員研修を実施する。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	1		2	6	・具体的な情報がなくわかりません。 ・災害時訓練をしている報告を受けたことがない。	避難訓練の実施計画・実施記録を保護者へ共有する体制を整える。定期的な訓練の実施を徹底する。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	1	3	2	3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	2	3	1	3	忙しさ故だと思いますが、乱雑な様子を車椅子乗車をしていることがありました。怪我をしていたわけではないですが、こちらから指摘させていただきました。	車椅子乗車等の支援における安全手順を職員間で再確認・徹底する。余裕を持った支援ができる体制づくりを進める。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6	3				
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6	2		1		
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	1	2	2	・管理者が退職し、今いる看護師さんも重症医療的ケア児の知識がなく経験もないのでカレッジガーデンで研修してもらわないと、軽安全な運営は無理だと思う。会社代表も知識がない。 ・常勤看護師の後任が確保されないまま退職となり、十分な引継ぎが行われていないように見受けられる点は大きな課題だと感じています。その結果、急な休業日が発生し、利用者全体に支障が出ている状況は看過できません。早急な体制整備と、従来通りの開所体制（月曜～土曜）の回復を強く求めます。	常勤看護師の採用を最優先課題として取り組み、早急な体制整備を進める。開所体制（月曜～土曜）の回復に向けた人員確保を急ぐ。